

開催日時	令和5年8月31日（木）13時30分から15時00分まで
参加者	委員：14人 その他：15人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：3人、天竜協働センター：1人、蒲協働センター：1人、包括支援センターあんま：3人、浜松市社協：地域支援課1人、浜松地区センター1人、東区事務所3人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>【開会】 会長より挨拶。</p> <p>【協議内容】</p> <p>①今までの振り返り、生活支援体制整備事業について ・事務局より、今まで話し合ってきた内容を振り返り、生活支援体制整備事業や協議体で話し合う内容について説明。</p> <p>②今後の進め方について ・この地域の身近な生活情報等を知ってもらうために、関係機関等が連携を取りながら、話し合うきっかけとなるよう情報提供をしていく。 ・自分たちの地域にとって、「どのようなことが必要なのか」また、「地域の助け合い」とはどのような活動をしていけばよいのか等を一緒に考えて自分達のまちを見直してみる。</p> <p>③情報提供 ・包括あんまより、地域包括支援センターについて、市民向けACP（人生会議手帳）について、（福）八生会の取り組み（みんなの食堂 そら）について等の情報提供を行った。</p> <p>④意見交換 「今年度 話し合いたいこと」 ・各地区に分かれ地図等を使いながら、「自分たちの住んでいる地域に必要なことは何か」について話し合った。</p> <p>中ノ町地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便な高齢者に対して、近隣にある福祉施設「長鶴の郷」と協力して買い物支援のしくみを考えるため、今まで話し合ってきた経緯を説明し再検討を行った。 ・地域の移動支援をどう確保していくかが課題（日常的な生活の移動支援の確保） ・白鳥町に2ヶ所、中野町に1ヶ所、遠鉄ストアや杏林堂の移動販売が入っている。 ・今後について 買い物支援だけでなく、地域のサロンに歩いて参加するのが困難な人に対しても送迎してもらうことが可能かどうかも含め長鶴の郷と話し合いをしていく。 →協議体会議に限らず、それ以外の場所でも話し合いを進めていく。 買い物支援が必要な地域は白鳥町のほか国吉町でも支援が必要。 →国吉町等の移動販売が必要と思われる地域に対して移動販売が入れるかについて販売業者とも連携し検討していく。

蒲地区

- ・ 包括あんまからの情報提供を聞いて
蒲地区に子ども食堂の話はない。
買い物支援に関しては、子安団地にとくし丸が来ている。
担い手は、協働センター祭りでのチラシ配布により 3 名新規加入者があった。
- ・ 現在の蒲地区について
家事支援ぬくもり、蒲デリシャス等地域での活動が展開されている。
居場所となるシニアクラブは各町にあるが、新規加入者が少ない。
- ・ 今後について
担い手の募集は昨年同様に蒲協働センター祭りにてチラシを配布していく。
シニアクラブへ参加してもらうにはどうしていけばいいか検討していく。

和田地区

- ・ 前年度あがっていた杏林堂とくし丸の活用について、安間町で既に開始している。
毎週 10 人前後利用者がいる。次回購入したい物を予約することができる。
シニアクラブ等の集まりの場に合わせて来てもらうのも有効ではないか。
- ・ 「みんなの食堂 そら」の活動の中で、お手玉やおはじき等の遊びを通して子どもと高齢者が交流できる場があるとよい。今後、「みんなの食堂 そら」の活動内容の報告があるとよい。
- ・ 今後について
安間町以外でも杏林堂とくし丸が必要と思われる地域があれば、活用を検討していく。
「みんなの食堂 そら」で子どもと高齢者が交流できるような場が作れないか検討していく。活動内容について、協議体会議の場で情報共有していく。

【閉会】

副会長より挨拶。

今後の見通し等

- ・ 中ノ町地区は、協議体会議外で長鶴の郷との調整を行い、買い物の支援等の調整を進めていく。また、移動販売が必要だという声もあるため、販売業者とも連携を取り対応していく。
- ・ 蒲地区は、昨年同様に担い手募集のチラシを作成する為、チラシの内容を再検討する。
- ・ 和田地区は、移動販売が必要と思われる地域の検討と「みんなの食堂 そら」で子どもと高齢者が交流する場ができるかどうかについて検討していく。